

「建物事故予防ナレッジベース」について

国土技術政策総合研究所
建築研究部

1. 趣旨

高齢化の進展により建築物内の転倒等の事故が増大するおそれがあることや、昇降機における事故の発生等を踏まえ、建築物使用時の日常生活で起こる事故の予防を図る必要がある。

このため、国土技術政策総合研究所において、建築物利用者（ユーザー）の普段の生活や行動において発生する事故について着目した「建築空間におけるユーザー生活行動の安全確保のための評価・対策技術に関する研究」を行った。

建物の使用時における転倒・転落をはじめとした日常事故予防は、使用状況に応じたきめ細かな対応が必要であることから、設計者、管理者、建物利用者に留意点等を含めた情報提供を行うことを通じて、設計、管理、利用段階で注意を払っていただき、事故予防を図ることとして、「建物事故予防ナレッジベース」を構築、国総研ホームページ上で公開。

2. 概要

(1) 収録情報

- ・ 事故事例：アンケート調査、判例検索、報道等を通じて収集した事例、社整審に報告された昇降機の事例
- ・ 事故を類型化した事故パターン及びそのパターン毎の建設・管理段階での留意点
- ・ 国総研が行ったシンポジウムの講演内容、研究報告、関連情報等

(2) 機能

- ・ 事故種別、建物用途、事故パターン等による検索機能
- ・ 閲覧者による参考情報の投稿機能（事故事例、工夫事例）



図 「建物事故予防ナレッジベース」（トップページ）
<http://www.tatemonojikoyobo.nilim.go.jp/>

【参 考】

アクセス 約3万件（21年8月～22年10月累計）

参考 「建物事故予防ナレッジベース」の画面構成



